

- ・会議の日時及び場所
日時 平成26年4月23日(水)午後2時33分
場所 小山市立中央公民館試写室
- ・会議の組織人員
人数 6人
- ・出席委員
1 番 福井 崇 昌
2 番 神 山 宣 久
3 番 福 地 尚 美
4 番 新 井 泉
5 番 西 口 絹 代
6 番 酒 井 一 行
- ・説明のため本会議に出席した職員
教育総務課長 添野 雅 夫
学校教育課長 中島 利 雄
生涯学習課長 栗原 要 子
文化振興課長 田村 秀 雄
生涯スポーツ課長 篠田 稔
- ・書記
教育総務課長補佐兼総務政策係長 小林 功

議題

報告事項

1 教育総務課

- ・寄付受入れについて
- ・平成26年度小山市立小・中学校教科用図書採択日程について

2 学校教育課

- ・平成26年度小山市校長会組織について
- ・平成26年度外国語指導助手(ALT)の採用状況
- ・平成26年度小山市奨学金貸与者決定について

3 生涯学習課

- ・平成26年度おやま市民大学の実施について

4 生涯スポーツ課

- ・平成26年度大会結果速報について
- ・第6回おやま思川ざくらマラソン大会の結果について

審議事項

1 教育総務課

- ・議案第1号 小山市立小・中学校教科用図書選定委員の選出について

2 学校教育課

- ・議案第 2 号 小山市就学指導委員会委員及び調査指導員の委嘱について
- ・議案第 3 号 小山市特別の支援を要する幼児教育相談員の委嘱について

3 生涯学習課

- ・議案第 4 号 小山市同和対策集会所運営委員及び管理人の委嘱について

○福井委員長

それでは、ただいまより 4 月の定例教育委員会を開会いたします。

まず、本日の会議録署名委員の指名であります。西口委員をお願いいたします。

続きまして、報告事項に入ります。

私のほうからは、年度末それから年度始めということで、人事異動などもございました。また市制 60 周年などという冠事業が今年度はふえるのではないかなという気がいたしまして、皆さんとともにしっかりやっていきたいなと思います。今年度もどうぞよろしくをお願いいたします。

また、今紹介がありました、新しくかわられた課長さんや担当の方ですね、新たな気持ちでまた 1 年間どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、教育長から報告をお願いいたします。

○酒井教育長

先ほども教育長室で話題になりましたけれども、本日は水曜日、冬でございましたらホットビズ、夏でございましたらクールビズということでございますけれども、4 月も水曜日につきましては、開運ポロシャツ推進デーということでございまして、職員ノーネクタイで臨んでおりますけれども、お許しをいただければと思っております。

先ほど資料をお配りさせていただきましたけれども、小山市ホームページの小山市教育委員会の教育総務課の中に、私の平成 26 年度に向けての所信を述べさせていただきますので、若干ご紹介をさせていただきます。

教育長挨拶ということで別冊をお配りしてございます。1 ページの①の部分でありますけれども、ことし小山市は市制 60 周年を迎えております。人生でいえば還暦であり、耳順でございます。教育委員会所管の多くの行事も行われるわけでございますけれども、それぞれ完成度の高いものを目指してまいりたいと考えております。

また、小山市の第 6 次総合計画の中には、「豊かな心と文化を育む“ひと”づくり」の中で、教育に係る方向性について次のように示されてございます。「子どもを生き健やかに育てられる環境づくりとともに、家庭・学校・地域が一体となって、次代を担う子どもの自主性と創造力を培う、豊かでたくましい心と体を育てる教育の充実を進めます」と。

以下、お読みいただければと思います。②の部分でありますけれども、小山市の学校教育、特に学校教育課の施策でございます。不易と流行の部分があるわけでございますが、不易の部分でございます「生命尊重・人権尊重の教育」を全ての教育活動の基盤に据えた上で、児童生徒の「安全の保証」「確かな学力の保証」そして「成長の保証」の 3 つの保証を掲げ、「子どもの瞳輝き、笑顔の溢れる学校づくり」、さらには「元気なあいさつの響く学校づくり」を目指してまいります。そのためには、教師と教師、教師と子どもで「共に創る」学級や授業、教職員と地域、教職員と保護者が「共に創る」学校を目指す、「共

創の教育」を推進するとともに、豊かな体験をとおして子どもたちに「育力」、つまり「自ら育つ力」、「他者に育ててもらおう力」、そして「他者を育てる力」を育むことを大切としてまいりたいと考えております。

③の部分でありますけれども、学校運営に当たりましては、「ほめて育てる小山のよい子」のスローガンのもと、子どもの「思いや願い」を大切にしながら、一人一人の「よさや可能性」を伸ばす教育の推進に努め、学力向上を図るとともに、心豊かで21世紀をたくましく生きることのできる人間の育成、さらには、支え合う人間関係の構築に向けた実践を求めてまいります。

④でございます。いじめの問題につきまして、「いじめ等防止市民会議」、あるいは「いじめ対策委員会」等を核としまして、さらに未然防止、早期発見、早期解決に努めてまいります。

⑤の部分でありますけれども、新しい施策といたしましては、昨年度関係委員会から提言を受けました学校適正配置の具現化、小・中一貫校の推進、さらには「地域とともにある学校」、いわゆる「コミュニティスクール」の実現に向けて、準備を進めてまいりたいと考えております。また、小学校1年生からの英語活動やICT教育の推進による国際化・情報化社会にしなやかに対応できる人間の育成等に努めてまいります。

⑥の部分でございますけれども、施設係としましては、本年度はトイレの改修事業、あるいは学務係関係で、通学路の安全確保に重点を置いてまいります。

⑦に生涯学習課関係、⑧に文化振興課関係、さらには⑨に生涯スポーツ課関係について載せさせていただきました。

⑩でありますけれども、教育には「不易」、つまり時代を超えて変わることのない価値のあるものと、「流行」、つまり時代や社会の要請に柔軟に応じ、変化を先取りして適切に対応すべき2つの側面がございますので、これらを的確に踏まえながら、「我がまち小山」ならではの教育実践を進めてまいる所存でございますので、委員の皆様にはご理解をいただきたいと思っております。

2つ目でございます。校長会、教頭会がございました。その中で、ただいま読ませていただきましたことにつきまして、さらにきめ細かな指示をさせていただきました。さらには、生命尊重、人権尊重の教育という観点から、オレンジリボン運動の推進であるとか、体罰等の根絶等、服務規律の厳正などにつきましてもきめ細かに指導させていただきました。加えて、障害者優先調達法がスタートいたしまして1年たったところでございますので、さらに今年度に向けてよろしくお願ひしたいということで理解を求めてまいりました。

「つなぐ」という視点から、地域とのかかわり、あるいは退職教職員とのかかわり、さらには地域行事への積極的な参加などについて、指導させていただきました。

「守る」というキーワードからは、教職員の健康管理、あるいは守秘義務等につきまして指導させていただきました。

さらには「育む」という観点から、本年も、昨日全国学力・学習状況調査あるいは栃木県の学力調査が行われたわけでございますけれども、さらなる学力向上対策の推進、あるいは道徳・特別活動の充実、さらには体験等奉仕活動の充実などについて指示をさせていただきました。

なお、番外編として、26年4月1日付で、いわゆるおやまの酒等で乾杯条例ができたも

のですから、そのことなどにつきましても若干触れ、各種学校行事等におきましても推進をしていただきたいということをお話をさせていただきました。また、とちぎSC（サッカークラブ）でございますけれども、この前身がとちぎ教員チームでございます。例えば、小山城南中学校の島野校長であるとか、あるいは小山第一小学校の横塚校長等が当時国体に参加をし、とちぎ国体優勝に導きました。ここにDNAがあるということから、現在市役所といたしましても、とちぎSCの支援の輪ということで募金活動を進めているところでございます。これにつきましても理解を求めたところでございます。

昨日、教頭会がございまして、同じような話をさせていただきましたけれども、特に大川小学校の事例を挙げまして、校長不在のときの教頭のあり方、やはり管理責任について研修を進める話を中心にお話をさせていただきました。また、教頭として職員を育てるという方向で勤務に精励していただきたいと、話をさせていただきました。

以上、報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

○福井委員長

続きまして、教育総務課からお願いします。

○添野教育総務課長

それでは、教育総務課からは2件ご報告をさせていただきます。

まず初めに、3ページをごらんいただきたいと思います。寄付受け入れについて報告をさせていただきます。ごらんとおり、教育委員会、各学校並びに中央図書館に寄付を受け入れましたので、ご報告をさせていただきます。

続きまして、4ページ、5ページをごらんいただきたいと思います。平成26年度小山市立小・中学校教科用図書採択日程についてでございます。5ページで、教科書採択までの事務の流れをご説明させていただきます。今年度は、平成27年度、来年度から市内の小学校だけです。中学校ではございません。小学校で使用される教科用の図書と、同じく来年度、27年度から、小・中学校の特別支援学級において使用される学校教育法附則第9条による一般図書についての採択替えの年となります。したがって、本日この後、審議事項であるのですが、教育委員会におきまして選定委員の選出をお諮りし、承認いただきましたならば、6月6日に第1回の選定委員会、7月10日に第2回選定委員会、7月22日に第3回選定委員会を開催させていただきます。その間、選定委員会の諮問機関として教科書の調査、研究を行う調査委員会を、6月から7月にかけて3回開催をいたします。調査委員会は、全ての調査結果を選定委員会にご報告いたしまして、それを受けて選定委員会において種目ごとに教科書を選定いたします。さらに、7月24日の定例教育委員会におきまして、選定委員長より選定結果と選定理由を報告していただきまして、最終的に教育委員会が審議をし、種目ごとに1種の教科書を採択するという流れとなっております。

なお、今年度の教科書展示会は、6月中旬から羽川西小学校で開催する予定でございます。

簡単でございますが、以上で採択日程の説明を終わらせていただきます。

○福井委員長

続きまして、学校教育課長から願いたします。

○中島学校教育課長

学校教育課から3件ご報告させていただきます。

報告事項1としまして、小山市校長会組織についてご報告申し上げます。議案書は6ページからになります。

4月10日木曜日に今年度の小山市校長会定期総会が開催されまして、今年度の校長会の運営方針及び組織が定まりましたので、ご報告申し上げます。

7ページと8ページをごらんください。7ページで、ローマ数字のⅠ、基本方針、それからローマ数字のⅡで努力点、それからローマ数字のⅢで役員会の内容、それから8ページで、ローマ数字のⅣで各専門部の内容という構成になっております。この中で、昨年度と変わりました点は、ローマ数字Ⅱの努力点の1と2の中で、多少文言が変わりました。1番のところで、「日常的に学校経営と運営の諸問題をとらえ、その解決に努める」とありますが、昨年までは「学校運営の諸問題をとらえる」となっておりましたが、今年度は「学校経営」という言葉と「運営」という2つの言葉がそこに並んでいることになりました。

それから、努力点の2のところで、今年度は「校長のリーダーとしての資質・能力を高め、各学校において教職員の専門職と人間教師としての在り方について研究と修養に努める」という今年度は表現になっております。「研究」と「修養」という表現に、昨年まではそこは「研さん」となっていたのですが、「研さん」という文言を「研究」と「修養」に、これも2つに並べて変えました。この2点が昨年度と変更になった点です。

続きまして、9ページをごらんください。今年度の小山市校長会の組織表でございます。会長は大谷東小学校の中山和彦校長、副会長は桑中学校の大貫義見校長、同じく乙女小学校の沖久幸校長、同じく小山第二中学校の長堅司校長です。各役員につきましては、表のとおりです。なお、小学校部会の会長は大谷東小学校の中山和彦校長、中学校部会の会長は桑中学校の大貫義見校長です。また、各専門部の構成につきましては、10ページに載せさせていただいたとおりでございます。

続きまして、報告事項2としまして、平成26年度外国語指導助手、いわゆるALTの採用状況についてご報告申し上げます。議案書は11ページと12ページになります。

今年度も昨年度に引き続き18名全員を市の直接雇用といたしました。採用期間は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間です。採用者の国籍は、11ページの4にあるとおりです。男女別人数は、男性が15名、女性が3名です。

ALTの一覧表を12ページに載せました。この中で、ナンバー14のディーン・ジャクソン、ジャマイカなのですが、この方が新規です。残りは継続です。なお、教育委員の皆様には、カラー刷りの写真入り名簿をつけさせていただいております。

続きまして、報告事項3としまして、平成26年度小山市奨学金貸与者決定についてご報告申し上げます。議案書は13ページと14ページになります。

小山市奨学金貸与条例の規定により、平成26年度新規の小山市奨学生4名を決定しましたので、ご報告申し上げます。今年度決定した4名の内訳は、自宅外通学の大学生2名、自宅通学の大学生2名です。詳細につきましては、貸与者一覧を14ページに載せさせていただきました。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いします。

○栗原生涯学習課長

平成26年度おやま市民大学の実施についてでございます。15ページをごらんいただきたいと存じます。

生涯学習の推進にあたりましては、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支援するとともに、学習のための環境整備を図りながら、生涯学習によるまちづくりの形成を目指しているところでございます。伸びゆく小山市のまちづくりと人づくりを目指し、市民が求める多種多様かつ高度な学習意欲に応えるとともに、現代的な課題や郷土の歴史・文化について学び、理解を深めることで、郷土を愛し、誇りを持って暮らせるまちづくりの推進並びに人づくりの一環として開講するものでございます。

日程は、26年5月31日から来年の2月5日までの間でございます。

詳細は、配付いたしました講座パンフレットをごらんいただきたいと存じます。

講師には、千葉大学の長澤成次先生、宇都宮大学の廣瀬隆人先生など19名の方に講師をお願いしているところでございます。

内容でございますが、おやまシニア大学のコース3学年分、5期生、6期生、7期生です。それから、渡良瀬遊水地学コース、音楽コース、政治経済コースでございます。詳しくはパンフレットをごらんいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長からお願いします。

○篠田生涯スポーツ課長

平成26年度大会結果速報について、2月28日から4月13日分につきまして報告させていただきます。

3月16日、小山城南中学校C、県中学弓道選手権大会、男子団体におきまして優勝いたしております。

3月22日、小沢夏美、白鷗大学でございますが、世界大学クロスカントリー選手権女子6キロメートルで第6位に入賞いたしております。

4月5日には、栃木県ジュニア投てき記録会が開催されまして、竹澤海斗、小山城南中学校、中学男子砲丸投げで優勝でございます。

新吾コウキ、同じく小山城南中学校、中学男子円盤投げでございます。優勝、記録はごらんのとおりでございます。

池澤彩花、小山西高等学校でございますが、高校女子ハンマー投げにおきまして優勝いたしております。記録はごらんのとおりでございます。

参考までに、4月中に開催されました海老沼匡選手の全日本選抜柔道体重別選手権大会、また萩野公介選手が出場しました日本選手権水泳競技大会の成績を紹介させていただいておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、17ページをごらんください。第6回おやま思川ざくらマラソン大会の結果についてご報告をさせていただきます。

好天に恵まれました4月13日日曜日に、小山総合公園森のはらっぱから思川桜並木堤防、間々田市民交流センター周辺を会場といたしまして実施いたしました。参加者は、申込総

数が3,050名、受付総数が2,717名、完走者は2,612名になっております。競技は32種目ございまして、18ページ以降、8位までの入賞者、全部で32人の方の成績を紹介させていただいております。17ページに戻りまして、6の成績でございますが、小山市民の優勝者が32種目中3名ございました。中学男子3キロメートルにおきまして小山中学校の山崎凜太郎選手、また中学女子3キロにおきまして小山城南中学校の磯智弥選手が優勝いたしております。また、ハーフ高校・一般男子50歳代で原田晴康さんが優勝いたしております。ちなみに、その下に、ハーフ高校・一般男子39歳以下ということで山口裕岐さんを紹介いたしております。さいたま市の在住でございますが、勤務先が小山市内の高岳製作所でございます。小山市の入賞者、8位までの入賞者でございますが、44名おりまして、入賞率は1.67%という結果でございました。

以上です。よろしくお願いいたします。

○福井委員長

報告事項につきましては以上でございます。これらにつきましての質問、ご意見などをお伺いいたします。

[発言する者なし]

○福井委員長

なければ、ちょっと私のほうから。これは学校教育課のですけれども、これにはちょっと報告にはなかったのだけれどもね。全国学力テスト、それから栃木県学力テストありましたよね。あれについての実施状況というか、内容はともかくとして、どんな感じだったかというのがわかれば。

○中島学校教育課長

昨日、無事終了したという報告は各学校から受けております。あと、中身につきましては、新聞報道等でいろいろ問題の難易度とか報じられていますが、どこも同じような感じかと思われま。

○福井委員長

結果が出るのが、あれは8月……

○中島学校教育課長

どちらかといいますと県のほうは先に6月頃出ます。

○福井委員長

当然また細かいことは出てくるでしょうかね、はい、ありがとうございます。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

奨学金の件なのだけれども、これは、今回は高校生ではないのだけれども、申し込んでくると、個人がホームページか何かで探して申し込んでくるのですか。

○中島学校教育課長

そうですね、これは市の広報などで周知しております。

○神山委員

中学校3年生の担任の先生がそういう対象になるような子供をピックアップして、推薦してくるといっているのはいないのですか。

○中島学校教育課長

中学校の場合はまた別に下野などの案内もあり、また貸与ではなくて給付の案内も来ますので、必ずしも小山市だけと限らないものです。

○神山委員

3年の担任の先生はみんな、小山市にこういうのがあるよというのは頭に入っているかどうかというのを知りたいところなのだけれどもね。結構生徒数多いですからね、中にいるのではないかと思うのですよね。高校生がゼロということは、余り中学校の卒業段階で小山市としての対応を考えていないのかなと思っていたのだけれども。

○中島学校教育課長

来年度、その辺の配慮をしていきたいと思います。

○神山委員

ええ、多分対象者は出てくると思うのですよね。

それから……

○福井委員長

はい、神山委員、どうぞ。

○神山委員

これはどういう形で返済するのですか。

○中島学校教育課長

返済は分割で返済していただいている例がほとんどです。

○神山委員

それは返済する人が選べるのですか。何年で返済するとかという。

○中島学校教育課長

はい、それから、保証人お2人立てることになっております。あと、本人が特段の事情で何かおくれたりする場合は、学務係が担当なのですが、そちらのほうと相談してその返済計画を立てていくということで対応しております。

○神山委員

すると、高校生なんかで対応した場合は、大学行ったりすると、猶予期間設けて社会人になってから返済するというような道ですか。

○中島学校教育課長

そうですね、はい。

○神山委員

はい、済みません。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

西口委員、どうぞ。

○西口委員

生涯スポーツ課の、萩野公介君の活躍が本当に素晴らしいので、今後の活躍が物すごく期待される場所ですね。

思川ざくらマラソンですが、昨年と比べて人数のほうはどのように増減があったのでしょうか。

○福井委員長

生涯スポーツ課。

○篠田生涯スポーツ課長

昨年はですね、少しお待ちくださいませ……。

○西口委員

もし、後で報告でも結構です。

○篠田生涯スポーツ課長

恐れ入ります。少し頂戴いたします。

○西口委員

外国語指導助手、これは、原語は皆さん英語でいらっしゃるのでしょうか。基本的、基礎的な質問でごめんなさい。

○福井委員長

学校教育課長。はい、どうぞ。

○中島学校教育課長

学校で英語の時間を主に指導しますので、国籍はいろいろありますが、皆さん英語を話される。それから、ある程度日本語がわかる人でないと、日本の教師とティーム・ティーチングを組むものですから、ある程度日常会話には事欠かない、なおかつ英語が話せると。中には英語以外の言語も話せる方がいますので、英語の授業だけではなくて国際理解教育ということで、いろんな学校行事などの面でも活用していただいております。

○西口委員

いろんな国の方がいらっしゃるの、その国のいろんな文化とかもあわせてお話しできるといい機会かなと思いました。

○福井委員長

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

先ほどの西口委員のご質問にお答えいたします。

参加者のところをごらんいただきたいと存じますが、平成25年度につきまして、上から順に、まず申込総数でございますが、3,199でございます。受付総数が2,884、完走者が2,764でした。約150名程度今回少ない形で締め切っております。よろしく願いいたします。

○西口委員

ありがとうございます。マックス3,000なのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

そうですね。どうしても堤防上を走る関係で、あまり多くなりますと落ちてしまうのではないかと、やはりその辺が心配なところでございます。

○西口委員

潜在的にはもっと参加したいなという方はいる可能性もあるということですかね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。そうですね、ロードレースというような平坦なところを走るケースですと、2,000から3,000人ふやしてもさほど問題なさそうですが、当市の特性がありまして、3,000というような制限を設けております。よろしく願いします。

○福井委員長

教育長、どうぞ。

○酒井教育長

補足であります。今回の大会につきましては、件名第6回としか書いてございませんけれども、市制60周年記念ということでございまして、予算を多く配当し、ゲストランナーといたしまして増田明美選手をお呼びさせていただきました。選手は時々白鷗大学に参りまして走る指導などしていただいているご縁で、昨年度のうちにお約束をし、招致をしたものであります。例年でございますと、ネット上で募集しているわけでございますけれども、今年度は、そういった方がお出でになるということで大変人気が高うございまして、2週間で枠を打ち切ってしまったということでございます。北は北海道から南は福岡まで、最高齢者が80歳を超す女性の方もいらっしゃいました。本当に幅広くお申し込みをいただきました。無制限でやりますとかなり数が上がったのではないかなと思うのですが、今後ご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

新井委員、どうぞ。

○新井委員

A L Tの関係の方で、最後のページなのですけれども、コンゴの方で、趣味のところに本を出版、「ありがとうアフリカ」というのが書いてあるのですけれども、これはどういった本なのでしょうかね。どういう言葉で書いたのかなと思ひまして。

○福井委員長

学校教育課長。

○中島学校教育課長

調べてなくて、申し訳ありません。

○新井委員

何かこういう本を図書館とかに置いていただけたら。でも、アフリカ語とかで書いてあるとわからないのですけれども、ちょっとおもしろいかなと思ひましたので。

○酒井教育長

原則的に英語のネイティブスピーカーなのです。ですから、恐らく英語で書かれているのだろうなと思うのですけれども、ただ「ありがとう」というのは日本語ですからね。

〔「日本語で出版してるか」と呼ぶ者あり〕

○酒井教育長

後で調べて、またご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

先ほど委員長がおっしゃいました学力テストの件です。きのうのニュースによりますと、1校だけ受けなかったところがあったようです。それは、教頭先生のスケジュール表に基づいてやったために受けられなかった。きょうの日付になっていたそうですね。だから、そういう間違いを小山市では起こさないように、よろしくお願いいたします。

〔「どこの県」と呼ぶ者あり〕

○福地委員

どこでしたっけ、大阪……関西の。

○酒井教育長

私もNHKそこまで見ていないで出勤してきてしまったので。今日の7時代のニュースで多分やっていたような気がするのですけれども。

○福地委員

そうです、はい。

○酒井教育長

あり得ないことが起きるのだなと思って、やっぱり日本は広いなと思いましたよ。

〔「そう、だからチェックがね」と呼ぶ者あり〕

○福地委員

そう、教頭先生のスケジュールではきょうになっていたのです。だから、1日ずれる予定で全部準備してあって、きのうのその試験には挑めなかったということですよね。

○酒井教育長

教育委員会も再三指示をし、学校も校長、教頭、教務担当者がおりますので、本当に二重三重にチェックをし、それで今回、県版のものと国のものと送付されているのが、有名な宅急便会社なのです。同じ便で来るのですよね。それを慎重にするように指示をしたり、また集めに来るのも同じですから、集める日が違うのだよね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中島学校教育課長

全国は昨日、栃木県のほうは本日、回収いたしましたので。

○酒井教育長

かなり二重、三重、四重にやっているはずなので、あれだけ新聞でもきょうやりますよということが報道されていて、そういう感覚がちょっと……。

○福地委員

ちょっと不思議な感じがしましたので、よろしくお願ひしたいと思います。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

なければ、ちょっと私のほうから。おやまシニア大学と、それからおやま市民大学との講座がありますけれども、この間シニア大学の卒業式というのに初めて参加しました。今ここに書いてあるのは7期生（1年生）コースということでありますけれども、これは2年目、3年目の人のコースというのもまた別に、これ以外のスケジュールというのがあるわけですね。

生涯学習課長。

○栗原生涯学習課長

福井委員長のご質問にお答えいたします。

おやまシニア大学、おやま市民大学ですが、今お話があったとおり、3カ年でこのシニ

ア大学を卒業いたしますので、このパンフレットのほかにプログラムが決まっております。資料の表紙に、昨年の卒業式の様子が出ているのですが、この写真の一番上の真ん中が卒業生で、お着物着ている方もいらっしゃいます。また、その卒業生の方が今後の活動ということでプレゼンテーションをしている場面が映っております。今回初めて、このような形で、受講した後、皆さんがどのような活動をするのかというような発表の場を設けたわけでございます。

なお、この卒業生の方々、今まで6期生いらっしゃいますので、その方たちを集めまして、ボランティア活動をする交流会のようなものを今後進めていく予定でおります。あわせて報告させていただきます。

○福井委員長

ありがとうございます。私もこの卒業式に参加して、この表紙の一番下にありますがけれども、「シニア大学4期生、今後の活動」ということで報告がありまして、せっかく集まった皆さんに、こういう活動をこれからやっていきますよという宣言をするほうがいいと思いますね。わかりやすくよかったと思いますよ。

それから、今年度卒業している方が、本当に人それぞれバラエティーに富んでいて、本当におもしろかったなと思いますね。元タカラジェンヌなんていう人もいました。姿勢がしゃきっとしててね、お年の割にはしゃきっとしている方がいらっしゃいましたら、元タカラジェンヌだったなんてね。小山市にしてもおもしろい人がいっぱいいるなど改めて感じました。本当にこれはいい試みだなというふうに思いました。

あと、もう一つ、おやま市民大学のほうも、音楽のコースで読売日本交響楽団関係、これは小山でやっている日本交響楽団のメンバーが入れてくれたという形で、これなんかも実践的なやつで、多分新しい試みだと思いますね。こういう選定した結果というか、引き受けていただいて何か反応はありましたですか。

どうぞ、生涯学習課長。

○栗原生涯学習課長

こちらの講師の先生につきましては、本当にお忙しい中を高山健児先生に快くお引き受けいただきまして、4回にわたりまして生涯学習センターでオーケストラ入門講座を企画したものでございます。なお、この講座につきましては、皆さんのアンケートの結果をもとに企画したものでございます。参加者もたくさんいらっしゃるのではないかと考えております。関心がございましたら、教育委員の皆様もぜひご参加いただければと思います。よろしく願いいたします。

○福井委員長

ありがとうございます。

ほかにご質問いかがでしょうか。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

議案書には出ていない話なのだけれども、最近話題になっていることで、女子のスポーツ選手の骨粗鬆症、年寄りと同じような骨の強度だというような話がありまして、疲労骨折が非常に多いのだそうですね。女子の体脂肪を絞っていってしまうと生理不順になるのだそうですね。それで、生理不順になると骨粗鬆症に、骨の形成がうまくできなくなって

疲労骨折がふえてくるというような話があるのだそうです。それで、私は増田明美さんの書いている本、文章をちょっと読んだのですが、アスリートの指導者がほとんど知らないというのですね、その因果関係を。恐らく小山市の小中学校のスポーツ指導の先生方も知らないのではないかと思います。プロの指導者で6割とか6割5分は知らないと言っていますね。学校関係だとほとんど知らないのではないかと思います。小学校高学年から中学生の範囲の年齢の女子が一番、生理を守るのに大切な時期なのだそうですね。その時期に体脂肪を絞って強引に訓練してしまうと、後々影響が大きくなるようなのですよ。そういう対策を、指導者ですね、コーチの先生方も指導をちゃんとしないと、小山出身の女子はみんな骨が弱くなってしまいう話ですね。ということで、アスリート養成、ちょっと気をつけなければいけないと思ったのですよ。その辺ちょっと、組織的にまとめておいていただきたいと思うのですが、どなたか専門の人に確認していただきたいと思うのです。意外と知らない医者、結構いるみたいですね。スポーツドクターに相談するといいかもしれないのだけれども、ということでお願いしたいと思うのです。

○福井委員長

生涯スポーツ課ね、どうぞ。

○篠田生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課の取り組みの中で、指導者研修とかそういった機会のテーマとして挙げるような形で、ぜひ取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○福井委員長

あとは学校教育なんかの中ではどうですか。学校教育課。

○中島学校教育課長

中学校に関しましては、県教委で専門医派遣事業というのがございまして、中学校が直接県のほうに申し込んで、そのお医者さんをお呼びすることもできます。ただし、予算が限られていますので。どちらかというと中学校の場合、スポーツよりも性教育に関する指導で、産婦人科のお医者さんが多くなっています。高等学校になりますとスポーツ関係もあるようです。何分県のほうで頼んでいるお医者さんが決まっていたり、予算の枠があるので、なかなか全てというわけにはいかないかと思うのですが、ただ、そういう機会があることは確かです。

○福井委員長

西口委員、どうぞ。

○西口委員

では、それに関連して、学校教育の中だけではなくて保護者に対しての教育というのでしょうか、例えばクラシックバレエなども、ちょうどその大事な時期に割と体重制限というのが係る芸術なのですね。ですから、その無月経になるという話は昔からもう言われておまして、それと、その骨の問題が今回入ったのはちょっと新しいかなと思うのですが、これも昔から言われている問題なのですよ。その辺、母親なり、担当者の方にも知識としてきちんとした情報をいただけたらなと思いますね。

○福井委員長

新井委員、どうぞ。

○新井委員

ちょっとそれで思い出したのですけれども、どこの県か忘れてしまったのですけれども、学校給食で牛乳を一時的に廃止したというのを見たので、消費税上がってその分削るといふことで、ある期間だけ試験的にやった経緯があるというのをちらっと見たので、そういうことは、小山市はしないしてほしいというふうに思いました。ちょっと、どこの県か忘れてしまったのですけれども。

○福井委員長

今の骨に関してね。カルシウム。

○西口委員

はい。米どころの、新潟でしたか……ちょっとどこだったか。

○西口委員

全部お米の給食、お米の給食に変えたときに、ご飯と牛乳が合わないのではないかと、食育として。それで牛乳を一時期だけ試験的に、夏は……

○西口委員

ほかの食材でカルシウムを補うようなことだと思います。

○新井委員

でも、まあ牛乳ぐらい飲ませてあげてもいい感じはするというふうには思いますよね。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

その食育に関してですけれども、とるほうも大いに影響あるのですが、そういうせっかくとったものを甘いものだと全部壊されてしまうというところがあるので、例えば缶ジュースを1本飲んだらね、もうそれはすごい糖分をとっているんで、カルシウムの力がぐっと下がってしまうというところもお母さん方お勉強してほしいのですね。

○新井委員

あと、日光に当たるとか、そのとった分動くとか、そうすると吸収がよくなるのではないですか。そういうのもあわせて、やっぱりその時期の子供さんに指導してくださるといいのですよね。

○福井委員長

教育長、どうぞ。

○酒井教育長

若干問題と外れていたの心配しているのですけれども……。

教育委員会にも食育係がございまして、最近消費税の問題であるとか、あるいは小山の和食の日、今度5月8日から毎月8日ということで実施するわけではありますが、私がいろいろ突っついては寸分たがわれないような栄養バランスについての回答が来るのですよ。1品を例えばお金以外の理由で落とすことによって、塩分の摂取量がどうであるとか、あるいはタンパク質を何でどう補うとか。ですから、申し上げたいのは、管理栄養士などしっかりとして栄養バランス考えてやっておりますので、給食については余りご心配いただかなくてもよろしいのではないかと。また、小山市においてはできる限り、8%の段階では全体のバランスを考えながら、単価を下げるということでも乗り切っていきたいと。これを消費税10%になったときには、「もしかすると考えざるを得ないかな」なんて言っている

のですけれども、食育につきましては、また希望がございましたら担当を呼びまして、その内容について報告をさせたいと思っております。

それから、前半のスポーツ、アスリートの健康等の問題でありますけれども、生涯スポーツ課、学校教育課、それぞれ役割を持って施策を進めているところであります。やはり私もNHKの番組を見ていて気になった点もございます。知っているようで知らなかったことがたくさんあったのだなということですので、今現在、小山市では、とちぎSCの例えば松本育夫さんをスポーツアドバイザーとして招致して、全般的なスポーツに対する心構えであるとか、あるいは指導の方向性であるとか、そういったこともきめ細かに食に対してはしていきたいというふうに考えておりますし、また先ほど中島課長のほうから県の事業の中でもあるということですので、まずはそういったところから勉強して、適切な部活動の指導、あるいは部活動だけではおろせないところがございまして、クラブでやっている、外の学校教育外でやっているところがありますので、その辺についても正しい指導のあり方について発信もしていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

それでは、報告事項につきましては、承認するという形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項については以上で終了いたします。

続きまして、審議事項に入ります。

議案第1号 平成26年度小山市立小・中学校教科用図書選定委員の選出についてということでございます。

この選定委員の選出につきましては、小山市小・中学校教科用図書選定の規則の5条によりまして、情報公開につきましては、全ての採択事務が完了後、求めに応じて公開することができるということになっております。公正な採択を期するために、全ての採択事務が完了するまで「マル秘」扱いということになっております。これにより、小山市教育委員会会議規則第17条に基づきまして、秘密会という形をとらせていただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

はい。それでは、テープをとめてください。

〔秘密会〕

○福井委員長

続きまして、議案第2号に入ります。小山市就学指導委員会委員及び調査指導員の委嘱ということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

学校教育課長、どうぞ。

○中島学校教育課長

議案書の29ページにございますが、平成26年度小山市就学指導委員会委員及び調査指導員の委嘱について申し上げます。

本委員会は、小山市就学指導委員会条例に基づき、障がい等のある幼児、児童、生徒の適正な就学指導及び教育的措置を図ることを目的に、小山市就学指導委員会を設置し、その組織づくりのために委員及び調査指導員を委嘱するものです。

委嘱期間は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間です。

就学指導委員名簿（案）を31ページに、調査指導員名簿（案）を32ページと33ページに載せさせていただきました。ごらんください。

名簿の中で、今年度新たに委嘱を考えている方には網かけにさせていただいております。就学指導委員15名、調査指導員42名です。

なお、小山市就学指導委員会条例を34ページに、施行規則を35ページに載せさせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○福井委員長

議案第2号の説明は以上であります。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

議案第2号につきまして、それぞれ名前が上がっている委員の方々、それぞれの専門職であります。専門の方が出てきておりますので、特別異議がございませんでしたら、原案どおり決定したいと思います。いかがでしょうか。

〔「はい」「これはあの」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

神山委員。

○神山委員

これは学校全て網羅されていないのだけれども、ここに名前が出ていない学校は関係ないというふうに判断してよろしいのですか。

○福井委員長

学校教育課長。

○中島学校教育課長

この指導委員のほうでしょうか。

○神山委員

はい、そうです。

○中島学校教育課長

これは学校だけではなくて幼稚園、保育所に行っているいろいろ調査するものでして、ある程度専門的な研修を積んでいる人間になりますので、ここに載っているのは特別支援学級がある学校の担任ということで、設置されていない学校等につきましては、名前が上がっておりません。

○神山委員

はい、わかりました。

○福井委員長

それでは、議案第2号について、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第2号につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第3号に入ります。小山市特別の支援を要する幼児教育相談員の委嘱ということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

学校教育課長、どうぞ。

○中島学校教育課長

続きまして、平成26年度小山市特別の支援を要する幼児教育相談員の委嘱についてご審議をお願い申し上げます。

議案書のほうは36ページ、それから37ページをごらんいただきたいと思います。こちらは、小山市特別の支援を要する幼児教育相談員設置要綱によりまして相談員を委嘱するものです。

委嘱期間は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間です。

相談員の名簿（案）を38ページに載せさせていただきます。ごらんください。

名簿の中で、今年度新たに委嘱を考えている方には網かけにさせていただいております。

なお、小山市特別の支援を要する幼児教育相談員設置要綱を39ページに載せてございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○福井委員長

議案第3号の説明は以上でございます。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

議案第3号につきまして、それぞれ深くかかわっている方々でそれぞれの専門ということで、原案に特別異議なければ、原案どおり決定したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

はい。議案第3号につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第4号に入ります。小山市同和対策集会所運営委員及び管理人の委嘱ということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

○栗原生涯学習課長

小山市同和対策集会所運営委員及び管理人の委嘱についてでございます。

小山市同和対策集会所の設置及び管理に関する条例第4条から第6条並びに小山市同和対策集会所管理運営規則第12条に基づく運営委員及び管理人の任期満了による改選が行われたことによるものでございます。

集会所の運営委員につきましては、別紙の名簿にてご提案したいと存じます。

委嘱期間は、平成26年4月1日から28年3月31日までの2年間でございます。

また、集会所の管理人の委嘱者につきましても、名簿をごらんいただきたいと存じます。

同じく平成26年4月1日から28年3月31日までの2年間でございます。

参考資料といたしまして条例規則を添付しておりますので、ごらんいただきたいと存じます。どうぞ皆様でご審議くださるよう、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○福井委員長

議案第4号の説明は以上でございます。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

議案第4号につきましての原案につきまして、異議がなければ原案どおり決定したいとすが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第4号につきましては、原案どおり決定いたします。

以上をもちまして、審議事項については終了いたします。

次に、次回の教育委員会の日程についての説明をお願いします。

○添野教育総務課長

次回の教育委員会の日程でございますが、次回につきましては5月27日火曜日を予定しております。会場については同じ試写室を考えておりますので、よろしくお願いいたします。委員会の数日前には議案書等を配付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○福井委員長

それでは、これをもちまして平成26年度4月の定例教育委員会を閉会といたします。

ご審議ありがとうございました。

—————閉 会 午後 3時50分—————